

保全活動日記 (案)

実施日 2022 3/13 (日)	時間 10:00-12:00	天気 晴れ	参加人数 37 人
----------------------------	-------------------	----------	-----------------

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い二次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。

3月の保全活動は、東側エリアの竹林に隣接する園路でネザサ等の草刈りを行いました。
また、竹林内の枯れたタケの除去を行いました。

東側エリアの竹林に隣接する園路の草刈り



① before



① after

昨年2月以来の草刈りとなりました。



② before



② after

散歩ができる園路になりました。



活動後、全員で記念撮影をしました。



今回の活動には、泉大津高校の生徒が参加しました。



東側エリアの竹林について



タケは、拡大すると他の植物を被圧します。その結果、生物の多様性が低下する恐れがあります。

公園協議会では、これまでタケの拡大を防ぐために、竹林の間伐を行ってきましたが、一昨年、約 120 年周期といわれる花が咲き、その後一斉にタケが枯れ始めました。

今回の活動では、この竹林の枯れたタケの除去作業を、泉大津高校の生徒さんたちを中心に行いました。



タケを 1 か所に集めました。斜面を登りながらタケを運ぶ作業は大変でした。

湿地の維持管理

信太山丘陵里山自然公園の谷部には、貴重な植物が生育する湿地がいくつかあります。

今回の活動では、湿地を保全するために、草刈を行いました。



貴重な植物に太陽の光が当たるよう、斜面の上の草刈を行いました。

▼「信太山丘陵里山自然公園」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QR コードで読み取り

信太山丘陵にヤギがやってきます

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地保全学研究グループ 李さんの「ヤギの放牧による信太山丘陵ネザサ草原の管理手法に関する実験的研究」のその後のお知らせです。

4月に東側エリアの尾根筋の草原に2頭のヤギが来ることになりました。ヤギのための小屋や牧柵も既に設置されました。



東側エリアの主園路沿いを歩いていると確認できるヤギの小屋と牧柵



ヤギが小屋ですぐすための「すのこ」をつくる李さんと藤原先生

信太山丘陵里山自然公園 新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動する、または休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。